



第1圖 三吉橋全景。南側より見たる景

三吉橋工事成る

世界的の異形橋

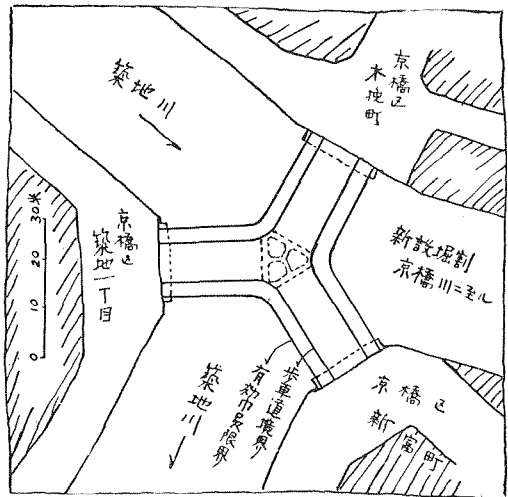
三つの橋臺と一つの橋脚とを有する近代的なプレート、ガーダーの三吉橋が東京市内に昨年12月竣工した。

大阪市の四ツ橋に對して、之は三ツ橋と稱するには餘りにふさはしからぬ、即ち一個の橋を以つて三橋の用をなすもので、最も良く其所の地形に適した型で、一種のY字型であるが、此の設計は最も經濟的なものである。復興局橋梁課長成瀬技師の談によると、此の三吉橋に似た橋はロンドンに一ヶ所あるとの事である。それは昔の石造階段式の小さいもので、公道橋としての價値あるものではない其點から言ふと復興局が架設した橋としては一小橋にすぎないが、世界第一のY字橋である。

三吉橋は最初は鐵筋コンクリートの拱橋にする案もあつたが、型は其方が美しいが、研究の結果は水面の間隔が少くなり水運の不便

を生じ、且つ又鐵筋混凝土にするとY字型のアーチとしては構造學的に不安定な處が発見されたので、遂に工費の安いプレート、ガーダーを採用したとの事である。然しプレートガーダーにしても決して型は悪くない、都市の橋梁として立派なものである。

工費の點から言ふと鐵筋コンクリートのアーチ橋にすると約30萬圓はかゝる、それをプ



第2圖 三吉橋架橋地點平面略圖



第3圖 三吉橋、橋脚工事中の景

プレートガーダーにして約20萬圓で出来上つたとの事である。

此のY字形の三吉橋の位置は銀座通りの南裡で新設の築地川と舊楓川との接續點に架せられたもので、昔から逢引橋と稱する貧弱な小木橋が在つた場所である。

三吉橋の有効幅は15米、長82.8米、面積にして1,166平方メートルである。川幅は33米で、道路幅は15米である。橋脚は三角形の井筒が中

央に一個あるだけで、橋臺は三個悉く鐵筋コンクリート造である。桁はプレートガーダー3個より成り、橋面は鐵筋コンクリートの上にグラノリシック、コンクリートが施工された。

三吉橋は復興局橋梁課の設計で、施工監督は同局東京第一出張所工事課、工事請負は奥村組である。起工は昭和四年二月、竣工は同年十二月である。

飛行機を工事設備に利用す

アメリカの鐵道で、ロージャースバスを見付けるに、技師は非常な困難をした。片方のポケットにシガーを一杯詰込み、他のポケットに豚肉を一杯詰込んで、一週間位も山間を踏査してをつた。之が今日であつたら飛行機を利用して容易に調査出来た事と思ふ。

日本の鐵道でも北海道の狩勝峠の様な線を發見するには、飛行機を使用したならば非常な便利であつた事と思ふ。

飛行機を工事に利用せるは、目下トルキ

スタンの灌漑地域調査及ジブラルタル海峡の海底隧道工事調査の目的に使はれてゐる

ジブラルタルの兩岸はキューールの柱と稱する千尺も高い絶壁があつて、測量など中困難である。又非常な深海もあるが飛行機で上空から撮影すると海流の状態など明瞭になつて海底の割れ目なども想像がつくと言ふ事である。

以上は一月十八日田邊博士が土木學會の總會に於て述べられた講演の一部大意である。